



小清水町防災拠点型 複合庁舎ワタシノ



概要

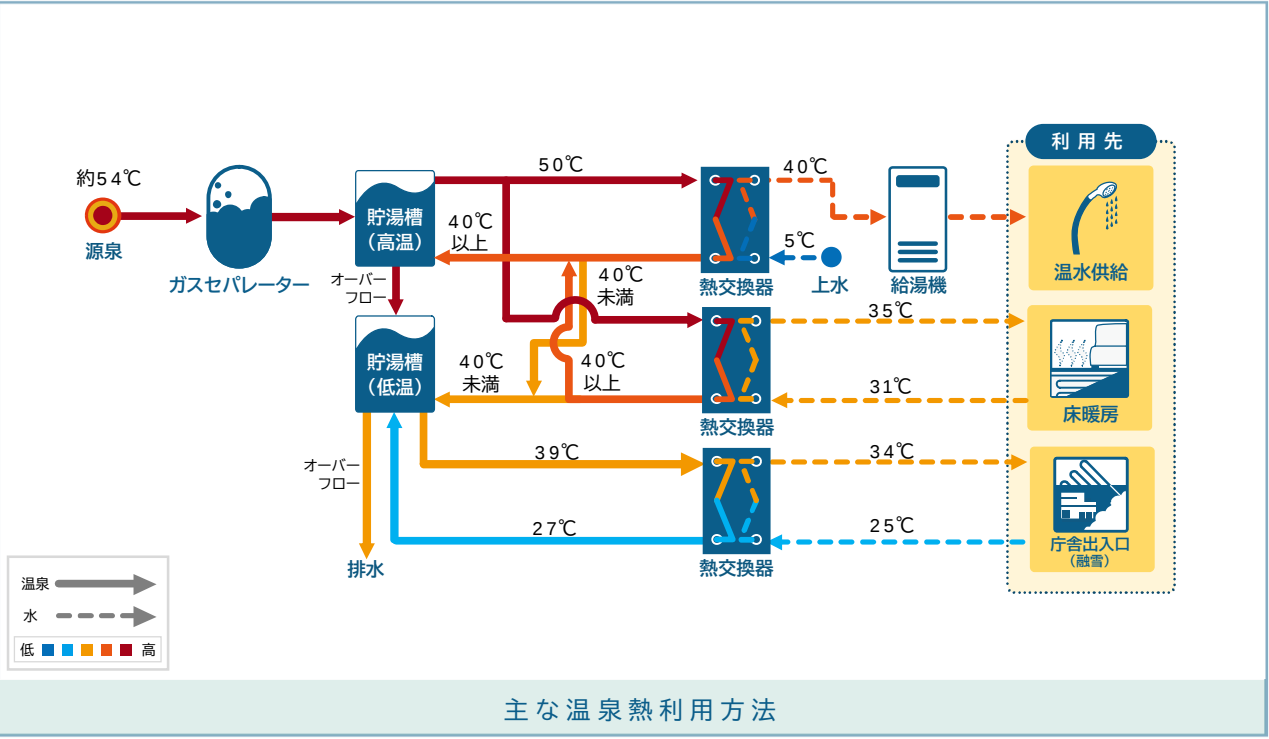
54.7℃の源泉を熱交換し庁舎床暖房、給湯機のプレ加温に利用している。二次利用として庁舎出入口周辺の融雪へ利用することになっている。

小清水町の温泉熱利用の取組は1980年から始まり、温浴施設や公共施設の暖房、プール加温、融雪、温室加温など様々な用途で活用している。

本施設においても温泉熱利用は当初から計画に入っており、新たに源泉を掘削している。



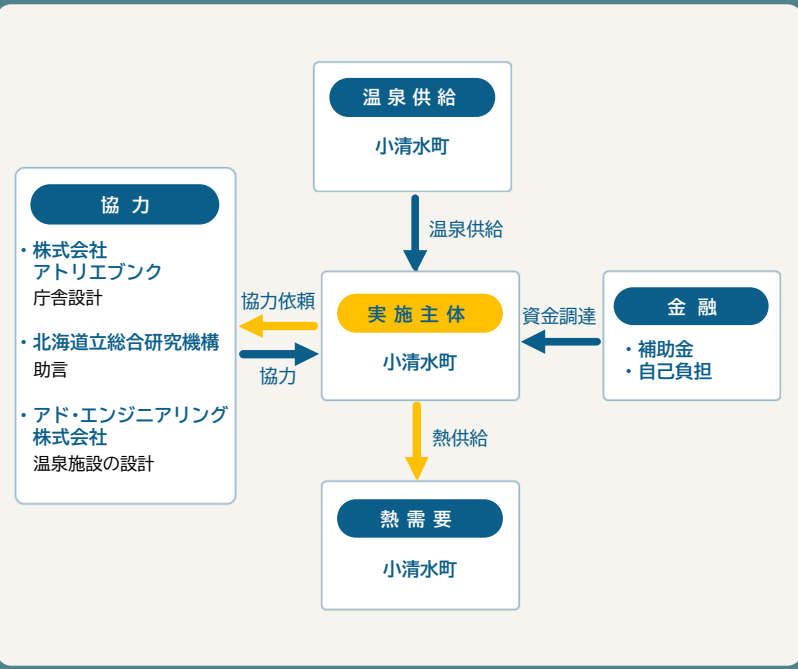
泉質	単純温泉	CO ₂ 排出量削減効果	エネルギーコスト削減効果
熱利用温度	55℃	226.5 t-CO ₂ /年相当	86 万円/年相当
利用温泉	新規温泉		
総事業費	1億8,228万円		



※ 本事例は「令和5年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。

※ 1: エネルギーコスト削減効果は、施設全体における計画段階の試算値です。

実施体制



事業検討の流れ

